

---

## 2. 発表論文等

---

第2章に掲載した論文等は各団体から転載の許可を得て掲載しております。

なお、著作権は各団体に帰属するため、転載を禁じます。

## 2.1 論文・技術報告等

---

---

- 1) 糞抽出 DNA 分析による個体識別法の道路環境アセスメントへの適用可能性 ..... 43
- 2) 森林表土利用工による緑化のり面に成立した草本群落の 6 年間の変化 ..... 53
- 3) マイクロチップを用いた小型サンショウウオ類のモニタリング技術 ..... 60
- 4) 都市における生物多様性保全に向けた緑の基本計画策定手法の現状と課題 ..... 64
- 5) 広域スケールでのオオタカの生息適地予測の有効性と空間的汎用性・地域性の課題 ..... 68

## 2.2 学会・シンポジウム要旨

---

---

6) 都市化が生物多様性に及ぼす影響～都市化度×パッチ面積×分類群の交互作用～ .....	75
7) 歴史的風致維持向上計画認定都市における土木施設の整備実態と適用工法に 関する研究 .....	76
8) 平成 23 年東北地方太平洋沖地震による歴史的土木建造物の被災状況に関する調査報告 (その 3) .....	78
9) Urban ecology in the Tokyo metropolitan area: spatiotemporal change of avian diversity during four decades .....	86
10) 鳥好きのための GIS 入門 (その 2) .....	87
11) 人口減少社会における都市緑地デザインと生態学の融合: 生物多様性に配慮した 地域づくりのために .....	88
12) 都市景観の向上に資する公園空間の高度利用方策に関する研究 .....	89
13) マイクロチップを用いたサンショウウオ類の生息環境評価と環境保全措置の 効果検証 .....	90
14) 趣旨説明: 都市の生物多様性を軸にした生態学と社会経済, 政策の融合にむけて .....	96
15) 都市の生物多様性保全政策の現状と今後の方向性 .....	97

## 2.3 雑誌・特集記事等

---

---

- 16) 都市由来植物廃材のエネルギー利用の現状と課題 ..... 101
- 17) 災害に強い都市緑化樹木—台風、津波災害による被害実態について— ..... 103
- 18) GIS と生息適地モデルによる広域スケールでの生物の生息環境の評価と地図化の試み . 108
- 19) 歴史的な土木施設における伝統的工法の活用方策  
～歴史的風致維持向上計画認定都市の取組みを例に～ ..... 112

## 2.4 出典

---

2.1 ～ 2.3 に掲載した文献の出典は以下のとおりである。（掲載順に列挙）

## 2.1 論文・技術報告

- 1) 園田陽一・中村匡聡・久保満佐子・松江正彦・上野裕介・栗原正夫（2014）糞抽出 DNA 分析による個体識別法の道路環境アセスメントへの適用可能性, 土木学会論文集 G (環境), 70 (6) : II\_341-II\_350.
- 2) 久保満佐子・飯塚康雄・栗原正夫・大貫真樹子・松江正彦・細木大輔（2014）森林表土利  
用工による緑化のり面に成立した草本群落の 6 年間の変化, 日本緑化工学会誌, 40 (2) :  
324-330.
- 3) 上野裕介・園田陽一・松江正彦・栗原正夫（2015）マイクロチップを用いた小型サンシ  
ョウウオ類のモニタリング技術, 応用生態工学, 17 (2) : 101-104.
- 4) 曾根直幸・上野裕介・栗原正夫（2015）都市における生物多様性保全に向けた緑の基本  
計画策定手法の現状と課題, ランドスケープ研究, 78 (5) : 615-618.
- 5) 上野裕介・栗原正夫（2015）広域スケールでのオオタカの生息適地予測の有効性と空間  
的汎用性・地域性の課題, ランドスケープ研究, 78 (5) : 647-650.  
2015. 6. 22 更新済

## 2.2 学会・シンポジウム要旨

- 6) 上野裕介・曾根直幸・栗原正夫（2014）都市化が生物多様性に及ぼす影響 ～都市化度  
×パッチ面積×分類群の相互作用～, 日本景観生態学会第 24 回金沢大会講演要旨集 : 64.
- 7) 木村優介・曾根直幸・栗原正夫（2014）歴史的風致維持向上計画認定都市における土木  
施設の整備実態と適用工法に関する研究, 土木史研究講演集, 34 : 97-98.
- 8) 阿部貴弘・木村優介・依田照彦（2014）平成 23 年東北地方太平洋沖地震による歴史的土  
木構造物の被災状況に関する調査報告（その 3）, 土木史研究講演集, 34 : 299-306.
- 9) Y. Ueno・N. Sone・M. Kurihara（2014）Urban ecology in the Tokyo metropolitan area:  
spatiotemporal change of avian diversity during four decades, 26th International  
Ornithological Congress : 110
- 10) 上野裕介・森さやか（2014）鳥好きのための GIS 入門, 日本鳥学会 2014 年度大会講演要  
旨集 : 84.
- 11) 上野裕介・曾根直幸・栗原正夫（2014）人口減少社会における都市緑地デザインと生態  
学の融合 : 生物多様性に配慮した地域づくりのために, 景観・デザイン研究講演集, 10 :  
CD-ROM.
- 12) 曾根直幸・栗原正夫（2014）都市景観の向上に資する公園空間の高度利用方策に関する  
研究, 景観・デザイン研究講演集, 10 : CD-ROM.

- 13) 園田陽一・上野裕介・松江正彦・栗原正夫 (2015) マイクロチップを用いたサンショウウオ類の生息環境評価と環境保全措置の効果検証, 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 14 : 25-30.
- 14) 上野裕介 (2015) 趣旨説明: 都市の生物多様性を軸にした生態学と社会経済, 政策の融合にむけて, 第 62 回日本生態学会講演要旨集 : T06-1.
- 15) 曾根直幸・上野裕介・栗原正夫 (2015) 都市の生物多様性保全政策の現状と今後の方向性, 第 62 回日本生態学会講演要旨集 : T06-7.

### 2.3 雑誌・特集記事等

- 16) 山岸裕 (2014) 都市由来植物廃材のエネルギー利用の現状と課題, 土木技術資料, 56(7) : 47-48.
- 17) 飯塚康雄 (2014) 災害に強い都市緑化樹木-台風、津波災害による被害実態について-, ベース設計資料, 162 : 37-41.
- 18) 上野裕介・栗原正夫 (2014) GIS と生息適地モデルによる広域スケールでの生物の生息環境の評価と地図化, 土木技術資料, 56 (11) : 22-25.
- 19) 木村優介・曾根直幸・栗原正夫 (2015) 歴史的な土木施設における伝統的工法の活用方策～歴史的風致維持向上計画認定都市の取組みを例に～, 土木技術資料, 57 (1) : 42-45.